

《肥料の施肥例》

3～4年は連作を避け、砂地な圃場には堆肥をたっぷり入れましょう。追肥と土寄せのタイミングがカギです。

◎元肥 (1㎡当たり)

おいしい菜園 → 100g

他に…トヨクween(石灰) → 120g

吟遊詩人(バーク堆肥) → 2kg

PKマグ32 → 30g …など

◎追肥 (1㎡当たりの1回の量)

おいしい菜園 → 30g

※子芋が増え始める頃(2度目にわき芽が出る頃)と、孫芋が出る頃(3度目にわき芽が出る頃)に追肥する。追肥の際の土寄せは1回目5cm、2～3回目10cm程度とし、収穫の1ヶ月ほど前になったらPKマグ32を追肥するとなお良い。



この肥料の特徴

粟のような形状で水に溶いて液肥にもでき、土を荒らさない安心して安全な中性化成肥料。速効性だが元肥・追肥両方に使用できる。

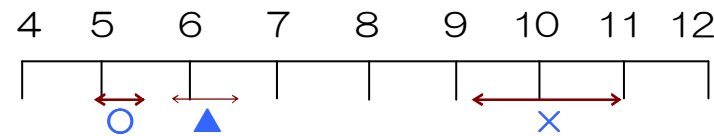
里芋

▶特徴と栽培のポイント

里芋はインドシナ原産で暖かい気候に向きますが、この地域では『山内いものこ』と言う名が馴染み深く、粘りも味も最高です。またビタミンなどの栄養素はでんぷんに守られて溶け出しにくいのも里芋の特徴の一つ♪

栽培中は乾燥に注意し、土寄せや芽かきのタイミングを逃さないのがポイントです。

▶栽培カレンダー ○採芽 ▲定植 ×収穫



生育適温は25～30℃と高目で、弱酸性の土地を好む。直植えすると失敗も少なくないので、右記のように芽出しをするか苗を買って植える。マルチを張ると活着がよくなるが、梅雨が終わる7月中旬頃には必ず剥がすこと。

里芋は病気に強いが、わき芽かきと適期の土寄せを怠ると芋が成長できない。追肥と土寄せをワンセットに考え、梅雨の排水管理や夏季の水やりも忘れずに(本紙参照)!

ネズミや害虫の進入にも十分注意する。

■催芽と植付けのコツ!

市販されている種芋は曾孫芋が主流だが、手持ちの親芋を使う場合は2～4個に切り分けて採芽(育苗)する。いずれの場合もポットや育苗箱で、種芋の深さが10cmくらいになるように土をいれ、たっぷりと灌水する。被覆をして日当たりの良い場所で芽が出るのを待つ(25℃以上で20日程度かかる)が、腐るので極力水やりはしないこと!

葉が2枚程度になったら、霜が降りなくなるのを待って定植する。土壌を深く耕し、畝幅1m株間40cmの平畝を作り深さ15cmの植え溝に苗(芋)を置き、5～10cm覆土する。畝は若干高いくらいが良い。



■栽培期間中のコツ!

子・孫芋からわき芽が出て来たら土寄せするが、それぞれ3～4本残してかき取るか埋める。梅雨期後半あたりまでに土寄せを終えるように…。

また高温期は乾燥を防ぐ為、敷きワラや畝間への灌水が有効! 夕方灌水し、朝に引けている程度が良い。過乾燥は芋の成長を阻害するので要注意。

POINT 粘り気のあるおいしい孫芋を収穫するには有機質に富んだ土と土壌を乾燥させない(高畝にする)こと!